



まちの話題 topics



3月のできごと



国立公園の誕生を祝いました

奄美群島国立公園の指定を祝うセレモニーが、3月7日に役場庁舎前でありました。セレモニーには、町議会議員や役場職員らが参加。国立公園の誕生を祝い、役場本庁舎に横断幕を掲げました。国立公園には、群島の8島12市町村内約7万5千平方メートルのエリアが指定されています。



木に触れ未来の暮らしを考える

木材との関わりを深める「木育」イベントが、3月8日に旧上城幼稚園でありました。これは、知名町に分室のある東北大学「未来の暮らし方を育む泉の創造プロジェクト」と鹿児島大学による共同事業で、上城小の5、6年生が参加。児童らはカッティングボードを紙やすりで磨くなどし、楽しんでいました。



町民体育館にスリッパを寄附

セントラルスポーツ代表の松元道芳氏が町民体育館にスリッパ120足を寄附され、その贈呈式が、3月17日に同所でありました。松元氏は、贈呈式で「町民のみなさんに快適に体育館を利用してほしい」と述べました。寄附されたスリッパは、町民体育館入り口右手の靴箱に収納されています。



認定こども園「すまいる」落成

町立認定こども園「すまいる」の園舎新築落成記念式典及び完成見学会が、3月19日に同園でありました。式典には、園児や関係者ら約100名が参加。工事関係者、土地の提供者などに感謝状が贈られたほか、下平川・知名幼稚園児によるお遊技が披露され、完成を祝いました。詳しくは、来月号で特集します。



親善バスケットボール大会

第3回セントラルスポーツ旗争奪親善バスケットボール大会が、3月18、19日の2日間、町民体育館などでありました。この大会は、沖永良部島と徳之島の中学・高校生の交流を目的に開催されており、今回は男女合わせて12チームが参加。各チームとも、優勝を目指し楽しみながら汗を流していました。



新たな観光の拠点として

下城字にある沖永良部芭蕉布会館の落成式が、3月26日にあり、関係者ら約70名が参加しました。同会館では、体験型の観光メニューとして芭蕉布を制作できたり、伝統工芸の伝承を行うための人材育成が行われたりするなど、今後、知名町の新たな観光産業の拠点としての活用が期待されています。